

○市内総生産あたりの産業廃棄物発生量

横浜市では、事業活動における産業廃棄物の発生抑制を測る指標として、市内総生産あたりの産業廃棄物発生量の推移をモニターしています。

平成30年度の市内総生産あたりの産業廃棄物発生量は、百万円あたり0.79トンでした。

また、市内総生産は、毎年、過去に遡って再計算されるため、過年度の数値も変更されます。

		A:産業廃棄物 発生量(トン)	B:市内総生産 ※(百万円)	A/B:発生量指標 (トン/百万円)
5 次 計 画	平成18年度	11,746,000	13,096,097	0.90
	平成19年度	11,282,000	13,258,148	0.85
	平成20年度	10,777,000	13,064,428	0.82
	平成21年度	10,119,000	12,554,402	0.81
	平成22年度	10,782,000	12,697,234	0.85
6 次 計 画	平成23年度	11,018,000	12,866,552	0.86
	平成24年度	10,930,000	12,820,192	0.85
	平成25年度	11,105,000	13,076,013	0.85
	平成26年度	10,330,000	12,795,575	0.81
	平成27年度	10,012,000	12,955,446	0.77
7 次 計 画	平成28年度	10,000,000	12,939,525	0.77
	平成29年度	10,635,000	13,245,724	0.80
	平成30年度	10,595,000		
	令和元年度			
	令和2年度			

※ 出典「横浜市の市民経済計算(平成23年度基準)」